

## 1 平成28年度実施状況と平成29年度の取組方向について

### (1) 教育・保育の実施状況と今後の取組方向

#### 〔教育・保育の実施状況〕

平成28年10月1日現在の教育・保育の実施状況について、子ども・子育て支援事業支援計画と比較し、点検、評価します。

#### ① 需要から見た計画と実際の比較

約半数の市町において、実際の需要が計画の量の見込み（需要）を上回っています。

これは、新制度において保育の必要性の要件が緩和された（120時間以下の就労、求職活動等）ことなどに伴い、3号認定については、実際の需要が計画よりも264名多くなった（0歳児△101名、1～2歳児365名）と考えられます。

	実際の需要 (人数) / 計画の需要 (人数)	実際の需要が計画の需要を 下回っている市町数 (実際の需要<計画の需要)	実際の需要が計画の需要を 上回っている市町数 (実際の需要≥計画の需要)
		計	計
1号認定	102.2%	13	16
2号認定	99.5%	14	15
3号認定 0歳	96.4%	17	12
3号認定 1～2歳	103.0%	15	14

#### ② 確保から見た計画と実際の比較

施設整備については、概ね計画どおり実施されており、確保できていない市町については、利用定員が計画どおり設定できなかったことが考えられます。

3号認定については、実際の確保が計画よりも144名多く（0歳児△97名、1～2歳児241名）なっていますが、①の需要から見た計画と実際の差である264名を下回っています。

	実際の確保 (人数) / 計画の確保 (人数)	計画どおり確保できている 市町数 (計画の確保≤実際の確保)	計画どおり確保できていない 市町数 (計画の確保>実際の確保)
		計	計
1号認定	101.3%	20	9
2号認定	102.3%	15	14
3号認定 0歳	96.6%	16	13
3号認定 1～2歳	101.8%	17	12

③ 実際の需要（申込児童数）と実際の確保（利用定員）の比較

県全体では実際の確保が、実際の需要を上回っています。また、実際の需要を確保できていない市町においても、面積と保育士の配置基準を満たしたうえで利用定員を超えて認可保育所に入所させることにより、待機児童が発生していない場合もあります。逆に、実際の需要を確保できているものの待機児童が発生している市町については、児童数が過密な地域に必要な数の施設が確保できていないことや、施設はあるが保育士が確保できない場合などが考えられます。

	実際の確保 (人数) / 実際の需要 (人数)	実際の需要を確保できている 市町数 (実際の需要 ≤ 実際の確保)			実際の需要を確保できていな い市町数 (実際の需要 > 実際の確保)		
		計	待機児童 なし	待機児童 あり (ア)	計	待機児童 なし(イ)	待機児童 あり
1号認定	154.9%	27			2		
2号認定	110.3%	26	24	2	3	3	0
3号認定 0歳	103.4%	19	13	6	10	5	5
3号認定 1～2歳	103.8%	21	18	3	8	2	6

【参考】平成28年度保育所等整備状況（私立の施設で国または県の補助金を活用し、平成28年度中に完成予定のもの）

市 町	種別	整備区分	定員増減
桑名市	保育所	大規模修繕	なし
四日市市	保育所	増改築	10名増
四日市市	保育所	創設	90名増
鈴鹿市	認定こども園	改築・創設	1号60名減、2・3号90名増
鈴鹿市	認定こども園	大規模修繕	1号90名減、2・3号30名増
津市	保育所	増改築	10名増
松阪市	保育所	創設	180名増
明和町	小規模保育事業所	創設	19名増
伊勢市	認定こども園	防犯対策	なし
伊勢市	認定こども園	大規模修繕	なし
伊勢市	認定こども園	大規模修繕	なし
名張市	小規模保育事業所	増改築	2名増
伊賀市	認定こども園	大規模修繕	1号130名減、2・3号51名増
	13施設		1号280名減、2・3号482名増

〔待機児童の発生状況〕

本県の保育所等における待機児童の発生状況は、平成28年10月1日現在、9市2町で476人となり、昨年比べて64人増加しました。

## 待機児童の発生状況（平成28年10月1日）

単位：人

市 町	H27. 4. 1	H27. 10. 1	H28. 4. 1	H28. 10. 1	4月増減	10月増減
津市	0	92	0	93	0	1
四日市市	59	124	64	142	5	18
伊勢市	0	0	0	27	0	27
松阪市	0	40	0	48	0	8
鈴鹿市	9	0	0	0	△ 9	0
名張市	8	114	29	109	21	△ 5
尾鷲市	0	2	0	0	0	△ 2
亀山市	9	19	6	14	△ 3	△ 5
熊野市	0	2	2	5	2	3
いなべ市	0	1	0	0	0	△ 1
志摩市	0	0	0	4	0	4
伊賀市	0	3	0	20	0	17
菰野町	0	4	0	7	0	3
明和町	13	6	0	7	△ 13	1
度会町	0	5	0	0	0	△ 5
計	98	412	101	476	3	64

待機児童数を年齢別にみると、0歳児が60.5%、1, 2歳児が35.1%を占めており、待機児童は、殆どが低年齢児（0～2歳児）であることがわかります。

## 年齢別待機児童数（平成28年10月1日） 単位：人

市 町	0歳児	1, 2歳児	3～5歳児	計
津市	66	27	0	93
四日市市	67	62	13	142
伊勢市	24	3	0	27
松阪市	44	4	0	48
鈴鹿市	0	0	0	0
名張市	48	53	8	109
尾鷲市	0	0	0	0
亀山市	7	7	0	14
熊野市	5	0	0	5
いなべ市	0	0	0	0
志摩市	4	0	0	4
伊賀市	14	6	0	20
菰野町	4	3	0	7
明和町	5	2	0	7
度会町	0	0	0	0
計	288	167	21	476
全体に占める割合	60.5%	35.1%	4.4%	

また、申込児童数は、前年に比べ、全体としては101人減少しています。申込児童数を年齢別にみると、3～5歳児は366人減少している反面、0歳児は209人と大幅に増加していることがわかります。

### 申込児童数の推移

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4,5歳児	合計
平成27年10月1日現在 A	2,810	5,773	7,165	8,743	17,339	41,830
平成28年10月1日現在 B	3,019	5,811	7,183	8,482	17,234	41,729
B-A	209	38	18	△261	△105	△101

各市町においては、このような傾向をふまえ、地域の実情に応じて低年齢児の保育基盤の強化を検討していく必要があります。また、県内の1,2歳児の保育所等利用率は、平成28年10月1日現在、46.8%となっており、各市町の状況は下表のとおりです。

県としては、各市町において必要な保育基盤の整備が行えるよう、保育所・認定こども園や地域型保育事業の創設等を支援するとともに、保育士・保育所支援センター事業を充実して、人材の確保について努めていきます。

### 1,2歳児の保育所等利用率（平成28年10月1日現在）

単位：人

市町	1,2歳児保育所等 利用児童数 (A)	1歳人口 (B)	2歳人口 (C)	保育所等 利用率 A/(B+C)	1,2歳児 待機児童 数
津市	2,085	2,098	2,043	50.4%	27
四日市市	1,738	2,533	2,394	35.3%	62
伊勢市	882	964	905	47.2%	3
松阪市	1,392	1,269	1,227	55.8%	4
桑名市	853	1,178	1,152	36.6%	0
鈴鹿市	1,518	1,584	1,486	49.4%	0
名張市	506	565	602	43.4%	53
尾鷲市	115	84	86	67.6%	0
亀山市	395	436	446	44.8%	7
鳥羽市	122	88	91	68.2%	0
熊野市	124	84	105	65.6%	0
いなべ市	263	359	336	37.8%	0
志摩市	373	238	272	73.1%	0
伊賀市	694	640	598	56.1%	6
木曽岬町	18	21	29	36.0%	0
東員町	143	205	190	36.2%	0
菰野町	269	341	310	41.3%	3
朝日町	70	107	110	32.3%	0
川越町	118	183	161	34.3%	0
多気町	138	104	89	71.5%	0
明和町	202	174	161	60.3%	2

市 町	1, 2 歳児保育所等 利用児童数 (A)	1 歳人口 (B)	2 歳人口 (C)	保育所等 利用率 A/ (B+C)	1, 2 歳児 待機児童 数
大台町	69	49	46	72. 6%	0
玉城町	131	135	140	47. 6%	0
度会町	59	58	50	54. 6%	0
大紀町	55	27	41	80. 9%	0
南伊勢町	67	45	45	74. 4%	0
紀北町	105	70	60	80. 8%	0
御浜町	63	43	61	60. 6%	0
紀宝町	99	77	75	65. 1%	0
合計	12, 666	13, 759	13, 311	46. 8%	167

※ 1, 2 歳児の保育所等利用率 = 1, 2 歳児保育所等利用児童数 ÷ 1, 2 歳児人口